

予告なしの避難訓練「お・は・し・も」を守り、防火扉を通して避難することができました！」

11月29日(火)に、地震と火災を想定した無告知の避難訓練を行いました。「緊急地震速報」のアラーム音が放送で流れると、児童生徒は安全を確保するための行動「低く、頭を守り、動かない。」の姿勢をとり、素早く机の下などに身を隠すことができました。2回目の「揺れは収まりましたが、高等部棟2階調理実習室から火災が発生しました。」の放送では、放送の指示をよく聞き、タオルなどで頭部を守りながら、防火扉を安全に通って、指示された場所に落ち着いて避難することができました。

また、点呼後、高等部棟の階段でけがをして動けない(想定)生徒への出動要請が救助班にあり、担架で迅速に待機場所へ避難をすることができました。

児童生徒だけでなく、指導者が様々な災害についての危機意識をもち、防火扉や避難経路について熟知し、安全かつ迅速に避難、誘導するためのとてもよい訓練となりました。

